

第2次やまなし食の安全・安心行動計画の実施状況について

1 行動計画の主な目標の平成22年度末の達成状況について

3つの推進方向とこれらを推進するための体制整備	指標数	達成率80%以上	達成率80%未満
(1)生産から消費に至る食品の安全性の確保	23	19 (83%)	4 (17%)
(2)食品に関する正確な情報の提供	10	7 (70%)	3 (30%)
(3)消費者、生産者、事業者の相互理解・信頼関係の確立	8	8 (100%)	0 (0%)
(4)総合的な食の安全・安心対策を推進するための体制整備	4	4 (100%)	0 (0%)
計	45	38 (84%)	7 (16%)

2 分野別の状況

(1)生産から消費に至る食品の安全性の確保

指標数: 23

達成率80%以上 : 19
達成率80%未満 : 4

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H17)	平成23年度末目標	平成22年度実績	達成率(%)
農産物(林産物を含む)の安全性の確保	農薬取締法の遵守	農薬販売業者への計画的な立入検査の実施件数	88件/年	計画期間中延べ500件	465件	93.0
		農薬管理指導士延べ認定者数	647人	1,200人	1,105人	92.1
		農薬適正使用アドバイザー延べ認定者数	153人	450人	524人	116.4
		特用林産物の栽培技術に関する講習会の開催	4回/年	計画期間中延べ20回	16回	80
畜産物の安全性の確保	飼料安全法の遵守	違法飼料給与農家割合	0%	0%	0%	(H22達成)
		飼料の安全性について啓発指導した牛飼養農家戸数割合	100%	100%	100%	100%
	HACCPの考え方を取り入れた衛生管理手法の導入	HACCP方式のデータの収集検体数(特定疾病の実態調査)	578検体	2,000検体	2,720検体	136.0
減化学合成農薬、減化学肥料の取り組みの推進	環境保全型農業の推進	エコファーマー認定数	6,513人	7,000人	7,414人	105.9
	甲斐のこだわり環境農産物認証事業の推進	認証基準策定品目の数	32品目	40品目	40品目	100.0
食品製造施設等における安全性の確保	食品製造施設等の監視指導	食品衛生監視指導計画に基づく監視率(監視指導実施施設率)	100%	100%	90%	90%
	食中毒防止対策	人口10万人あたりの食中毒患者発生者数	28人	22人	26.1人	(H22未達成)
給食施設における安全性の確保	特定給食施設等に対する監視指導の実施	給食施設別巡回指導実施施設割合	59.4%	65%	44.6%	68.6
	学校給食における安全性の確保	学校給食施設巡回指導校数	32校/年	計画期間中延べ175校	150校	85.7
食肉処理段階における安全性の確保	と畜検査の実施	と畜場で処理された枝肉の微生物検査を実施した枝肉数	牛枝肉 67頭 豚枝肉 83頭	計画期間中延べ 牛枝肉 600頭 豚枝肉 600頭	603頭 213頭	100.5 35.5
	食鳥検査の実施	食鳥処理施設で処理された鶏の体の微生物検査を実施した羽数	40羽	計画期間中延べ300羽	261羽	87.0
流通・販売段階における安全性の確保	農畜水産物の農薬、抗菌性物質等の残留検査	残留農薬の収去検査結果の不適合数	0件	0件	0件	(H22達成)
		残留動物用医薬品の収去検査結果の不適合数	0件	0件	0件	(H22達成)
流通・販売段階における安全性の確保	HACCPシステムの考え方を取り入れた自主管理体制の普及	営業者、従事者の受講者数	7,622人/年	計画期間中延べ50,000人	40,461人	80.9
消費段階における安全性の確保	県民への食品衛生知識の普及	食品衛生講習会等への参加人数	965人/年	計画期間中延べ5,000人	3,799人	76.0
	きのこ鑑定会の実施	きのこ鑑定会開催回数	15回/年	計画期間中延べ75回	68回	90.7

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H17)	平成23年度末目標	平成22年度実績	達成率(%)
輸入食品の安全性の確保	輸入食品の監視指導及び収去検査の実施	食品衛生監視指導計画に基づく監視・検査実施率	100%	100%	100%	(H22達成)
畜産物の生産のための調査研究の推進	薬剤耐性菌発現状況の把握	薬剤耐性菌の検査件数	24件/年	計画期間中延べ120件	128件	133.3
魚苗供給・試験指導の充実	養殖魚の防疫対策	養殖業者への巡回実施率	80%	100%	100%	100%

(2)食品に関する正確な情報の提供

指標数: 10

達成率80%以上 : 7
 達成率80%未満 : 3

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H17)	平成23年度末目標	平成22年度実績	達成率(%)
適正な食品表示の徹底	食品表示合同調査の実施	調査店舗数	広域 100店舗 地域 200店舗	計画期間中 500店舗 1,000店舗	379店舗 579店舗	75.8 57.9
		食品適正表示実施率100%の店舗割合	53%	80%以上	80.2%	100.3
		トレーサビリティシステムの利用促進	52件	150件	149件	99.3
トレーサビリティシステムの整備	ホームページによる県産牛肉の生産履歴の公開	ホームページのアクセス数	約7,000件/年	10,000件/年	8,200件	82.0
食品の安全性に関する情報提供	消費者等への情報提供	県のホームページアクセス件数	約7,000件/年	10,000件/年	15,473件	154.7
食品の安全性に関する相談の受付、苦情の対応	食品安全110番の設置、運営	食品安全110番による相談対応件数	82件/年	計画期間中延べ450件	770件	171.1
	イベント開催時の相談等への対応	相談対応件数	7件/年	計画期間中延べ100件	118件	118.0
食の安全・安心について普及・啓発	リスクコミュニケーションの推進	意見交換会等の参加者数	480人/年	600人/年	845人	140.8
	研修会の開催や勉強会等への講師派遣	研修会等開催回数	14回/年	計画期間中延べ150回	119回	79.3
	栄養士、調理師、食生活改善推進員等に対する研修会の実施	研修会への参加者数	4,939人/年	5,000人/年	3,689人	73.8

(3)消費者、生産者、事業者の相互理解・信頼関係の確立

指標数： 8

達成率80%以上 : 8
達成率80%未満 : 0

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H17)	平成23年度末目標	平成22年度実績	達成率(%)
消費者、生産者、事業者との交流促進	児童・生徒・先生等の牧場等への視察の実施	牧場等視察学校児童・生徒数累計	4,337人	7,000人	11,000人	157.1
地産地消の推進	地元農林畜水産物の地産地消の推進	地産地消サポーター数	1,022人	1,250人	1,305人	104.4
	地産地消県民運動の推進	直売所の登録農家数	延べ 9,412人	延べ 10,700人	12,584人	117.6
	学校給食等における地元の農林畜水産物の活用	学校給食への牛乳の年間供給本数(児童生徒1人当たり)	194本/年	194本/年	189本	97.4
学校給食における県産食材の使用割合(重量ベース)		31.7%	35%以上	35.3%	100.9	
食育の推進	農業体験学習の推進	農畜水産物生産現場での農業体験の実施	180人/年	250人/年	459人	183.6
	学校給食関係者に対する食に関する研修会等の実施	研修会等への参加人数	1,950人/年	計画期間中延べ 10,000人	8,026人	80.3
	食育実践地域活動支援事業	食育ボランティアの育成数	4,694人	5,200人	5,182人	99.7

(4)総合的な食の安全・安心対策を推進するための体制整備

指標数： 4

達成率80%以上 : 4
達成率80%未満 : 0

目標とする事項	取り組み、事業	指標	策定時(H17)	平成23年度末目標	平成22年度実績	達成率(%)
施策推進のための情報・意見交換の充実	リスクコミュニケーションの推進(再掲)	意見交換会等の参加者数	480人/年	600人/年	845	140.8
	食の安全・食育実践活動	推進大会参加者数	200人/年	250人/年	350	140.0
市町村との連携、情報・意見交換	市町村ネットワークの構築	市町村担当者会議の開催	—	計画期間中延べ 10回	10回	100.0
NPOや食育ボランティア、自主活動組織との協働	食育実践地域活動支援事業(再掲)	食育ボランティアの育成数	4,694人	5,200人	5,182人	99.7

3 未達成の目標について

1 人口10万人あたりの食中毒患者発生数

策定時(H17)	平成23年度末目標	実績				H22達成率(%)
		H19	H20	H21	H22	
28人	22人	58人	31人	18人	26人	未達成

※未達成の理由及び今後の対応

H22はノロウイルスによる食中毒の発生が大半をしめており、1事件の患者発生数が多い。今後は、監視、講習会を通じ、ノロウイルス対策に重点をおき食中毒の発生防止の普及等取り組みを強化していく。

2 給食施設別巡回指導実施施設割合

策定時(H17)	平成23年度末目標	実績				H22達成率(%)
		H19	H20	H21	H22	
59.4%	65%	49%	41%	46.1%	44.6%	68.6%

※未達成の理由及び今後の対応

巡回指導を行う保健所の組織再編に伴い、目標設定時点における指導体制(8保健所9班体制)が平成18年度から5保健所6班体制に縮小されたため、指導実施総数が伸び悩んでいる。今後は、可能な限り巡回指導の実施方法等を見直し、効率的に巡回指導を実施していく。

3 と畜場で処理された枝肉の微生物検査を実施した枝肉数

策定時(H17)	平成23年度末目標	実績				H22達成率(%)
		H19	H20	H21	H22	
牛枝肉 67頭	計画期間中延べ 牛枝肉 600頭	150頭	313頭	476頭	603頭	100.5
豚枝肉 83頭	豚枝肉 600頭	50頭	108頭	188頭	213頭	35.5

※未達成の理由及び今後の対応

豚枝肉は、検査を実施したところ病原性細菌があまり検出されていないため、牛枝肉の検査に重点を置き多く実施している。今後も、状況に応じて計画的に実施していく。

4 食品表示合同調査実施店舗数

策定時(H17)	平成23年度末目標	実績				H22達成率(%)
		H19	H20	H21	H22	
広域 100店舗	計画期間中 500店舗	96店舗	188店舗	283店舗	379店舗	75.8
地域 200店舗	計画期間中 1,000店舗	141店舗	271店舗	389店舗	579店舗	57.9

※未達成の理由及び今後の対応

地域調査については、平成21年度までの調査方法の見直しを行ったことにより、昨年度はそれまでの達成率に比べて大幅に伸びたが、平成23年度末における目標値からはまだ開きがあるため、今年度は、各地域の実施状況を定期的に確認しながら、目標達成に近づけるよう努めていく。

5 栄養士、調理師、食生活改善推進員等に対する研修会への参加者数

策定時(H17)	平成23年度末目標	実績				H22達成率(%)
		H19	H20	H21	H22	
4,939人／年	5,000人／年	3,910人	3,319人	3,865人	3,689人	73.8

※未達成の理由及び今後の対応

社会情勢等を把握しながら、参加者のニーズに沿った研修内容としているが、開催場所や日時等についてまだまだ工夫する余地があるものとする。今後も、参加者対象者がより参加しやすい環境をつくるとともに、開催周知を強化し参加者の獲得に努めていく。